

2024年度総務研修委員会基本方針・事業計画

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

2024年度総務研修委員会基本方針・事業計画

担当副理事長 水庭 祐貴

委員長 神田 雅泰

副委員長 鶴木 宏介 佐藤 祐太

委員 飯詰 美紀 大澤 誠之 落合 麻早斗 齋藤 優太 長井 正之

<基本方針>

1 日立青年会議所は1967年に創立され、劇的に変化していく環境や地域情勢に柔軟に対応  
2 し、修練・奉仕・友情の精神に基づいたに事業を積極的に展開して日立市を明るく豊かな社会  
3 へ導いて参りました。本年は、ほぼ半数のメンバーがアカデミーメンバーでありながらも、こ  
4 れまでと同様地域社会への変革をもたらしていく運動をおこせるよう、メンバー一人ひとりが  
5 方針を理解、共有し連携体制が整った組織を形成していく必要があります。

6 まずは、定款及び諸規定に基づいて最高意思決定の場である定時総会を厳粛かつ整然と執り  
7 行うために、昨年からの引き継ぎ事項を踏まえ入念な事業の準備を行い、日立青年会議所のガ  
8 バナンスの強化をはかります。そして、持続可能な組織へ変革するために、事業運営方法のマ  
9 ニュアル化を進め、組織ノウハウを蓄積することでオペレーションの均一化をはかります。  
10 さらに、次年度の日立青年会議所の方向性を決定するために、改善点を踏まえて臨時総会を厳  
11 粛かつ整然と開催し、内外へ方向性を周知し次の世代にスムーズに組織を引き継ぎます。また  
12 、地域社会と若者の相互理解を推進するために、リベラルアーツを学べる研修事業を実施し、  
13 地域福祉の増進を目指します。そして、メンバー及び市民がより豊かな人生を送るために、青  
14 年会議所運動を通じて一人ひとりの成長を促し、魅力ある日立の創生と文化資本の醸成を目指  
15 します。さらに、変化していくデジタル社会に対応するために、委員会運営でグループウェア  
16 を活用し、メンバーの情報リテラシーの醸成を図ります。

17 リベラルアーツをはじめ学習意欲の高いメンバーからなる日立青年会議所は、事業を通じて  
18 地域と調和し必要とされる組織として認知され、修練・奉仕・友情の精神を同じくする同志の  
19 数を増やし、日立市を明るく豊かな社会へ導き存在感のある組織となります。

20

<事業計画>

21 1) 第53回茨城ブロック大会日立大会の成功

22 2) 1月例会の主管

23 3) 8月例会の主管

24 4) 9月例会の主管

25 5) 積極的な会員の拡大

26